

ロータリーを祝おう 100年の歩み
CELEBRATE ROTARY

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務所 大塚町茨木市土中委一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881
例 会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大坂 茨木市中懸橋一丁目1-10 TEL (072) 620-2121
会 長/長澤利治 幹 事/久保義哲 会 議 委員 長/河原崎 啓
委 員/中西、松尾、武西



姉妹クラブ:台北西北区扶輪社
友好クラブ:インドネシア・チネレRC

No.16 平成16年 11月17日

本 日 の 卓 話
11月17日(水)
「職業奉仕委員会見学会」
於:住友有芳園・泉屋博古館

例会記録

第2213 回例会 11月10日(水)晴
国歌「君が代」斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
ゲスト・スピーカーご紹介
松上純一郎様(2003~04年度R財団奨学生)
ビジターご紹介
白 雨 田君(米山奨学生)

11月会員誕生 田中
11月夫人誕生 長澤厚子、掛谷知子
11月結婚記念 高島、武智、安積
11月入会記念 日野岡、菊山

10月ホームクラブ皆出席
秋山、安積、橋本(淳)、日野岡、簡、笠原、久保
長澤、野田、大木、大森 坂井、朱、戸川、山田

会長の時間

長澤利治会長

例会前、当クラブ指名委員会が行われました。月日のたつのは早いものです。

RI会長候補も、この12月1日までに他の候補者がなければ、ニュージーランド・パ克蘭ガRCのウィリ

出席報告

| 第2213 回例会 | | | 前々回(第2211 回) | | |
|-----------|----|----|--------------|----|--------|
| 会員数(免除) | 出席 | 欠席 | 出席率 | 欠席 | 補正出席率 |
| 30(9) | 17 | 4 | 80.95% | 2 | 90.48% |

アムBビルホイド氏が決まるとのことです。

さて、我クラブでは、社会奉仕活動として、府立茨木養護学校に対し、ウォシュレット9基を贈呈しましたが、今回、茨木西RCが身障者用体重計を贈呈され、養護学校体育館に於いて感謝状贈呈式があり、茨木西RC、及び私、幹事、社会奉仕委員長が参加し、感謝状を頂いてまいりました。茨木西RCが贈呈した体重計も、なぜ体重計と思われるかと思いますが、養護学校では今まで正確に計れる体重計が無いのだそうです。すべて手作りで、正確に計ることが出来ず大変不便であったとのことで、非常に喜ばれていました。茨木RCのウォシュレットでは、児童の一人が感謝の言葉の中で、寒くなる季節、お尻が暖かくトイレを使うことが出来るので、大変喜んで使用しているとの言葉がありました。今後共、よりよい社会奉仕活動をと祈っています。

幹事報告

久保義哲幹事

1、例会変更(北摂11RCの例会変更)

茨木東RC:11/18(木) 20(土)秋の家族会のため

11/25(木) 24(水)合同ガバナー公式訪問

2、RI及び2660地区連絡事項

- 1) 国際大会報奨金使用用途の経過の説明会
11/16(火) 於:ガバナー事務所会議室
- 2) GSE委員会受け入れ実行委員長・副委員長会議の案内
11/27(土) 於:ガバナー事務所
- 3) 第2回WCS活動に関するアンケート
- 4) 山口会員に第8回米山功労者マルチブルの通知
- 5) 「ユネスコ・世界寺子屋運動」の協力依頼
・ 年末(12/1~1/15)コイン募金
・ 書き損じハガキ、未使用ハガキ
- 6) 2005~06年度版公式名簿記載役員名報告書式
- 7) 地区RACニュースレター「観察日記」
- 8) ザ・ロータリアン11月号

3、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 赤十字血液センターより献血感謝のつどいの案内
(当クラブは活動年数 5 年以上で献血功労団体として有功章を贈呈される)

12 / 17 (火) 於 : 宮ノ森ピロティホール

- 3) 茨木フェスティバル報告会の案内 11 / 17 (水)
4) 千里 RC より会報

4、理事会報告 (11 月 10 日開催)

- 1) 1 2 月度プログラムの件

原案通り 承認

- 2) 忘年家族会の件 (3 RC 合同)

例会 18 : 00、親睦会 18 : 30 とする。メインゲストはハイヒールモモコ・リンゴとし、他内容については 3 RC 親睦委員会協議にて決定する 承認

- 3) 茨木 RC 例会費削減 (案) の件

原案 3 案 承認

ホテルの今まで通りの 2 階宴会会場使用とし、音響設備費例会 1 回につき、7,000 円は無しとし、クラブ CD ラジカセ使用とする。

尚、食事費は 1,500 円位とする。1,500 円 × 23 人 × 47 回 = 1,621,500 円 (月 1 回 3,000 円位を含む) 本年度下半年実施とする。

ビジターフィーは 2,000 円とする。

- 4) 茨木 RC 細則変更の件

a) クラブ細則第 1 条、第 1 節 2 行目 5 名の理事を 4 名に変更。

b) 第 2 条 本クラブ管理主体は本クラブの本細則第 1 条第 1 節に基づいて選挙された 4 名の理事・会長・副会長・会長エレクト・幹事・会計・会場監督および直前会長より成る理事会とする。

(上記 2 件の変更) 承認

- 5) その他

・国際大会報奨金の使用用途の件

もう少し使用用途についての詳しい説明と出来ればクラブに返金願ひ度い旨を 11 月 16 日の IM 第 2 組の会長会にて、長澤会長にクラブとしての意見を伝えて頂く。結果に対しては会長に委ねる事とする。

・外郭団体事務局員親睦旅行の件 12 / 10 承認

委員会報告

職業奉仕委員会

戸川通夫委員長

見学会のご案内 (移動例会)

日時 : 11 月 17 日 (水) 14 : 00 ~ 現地集合

場所 : 住友有芳園・泉屋博古館

例会 / 会食 : 味ま野 16 : 30 ~

出席者数 : 19 名 (ご家族 3 名)

交通機関等で分かりにくいときは戸川までお問い合わせ下さい。

米山記念奨学会寄付報告

秋山会員より頂きました。

本日までの合計 125,000 円

ロータリー財団委員会

野口健一副委員長

今月は R 財団月間ですので、財団寄付についてのパンフレットとお願いのレターをボックスに入れさせて頂きました。できましたら本日、ニコニコ封筒でお願い致します。

R 財団寄付報告

橋本 (秀) 会員、日野岡会員、簡会員、笠原会員、河原崎会員、中西会員、高島会員、朱会員、山田会員、より頂きました。(レート 108 円)

本日計 89,964 円 (\$ 833)

卓 話

「イギリスの地方都市で暮らして」

2003 - 4 年度ロータリー財団国際親善奨学生

松上純一郎氏

私はロータリー国際親善奨学生として 2003 年 8 月から 2004 年 9 月までイギリス、ノーリッジにあるイーストアングリア大学大学院開発学部に留学しました。ノーリッジは人口 35 万人ほどの都市で、11 世紀にはヨーロッパ大陸との交易で栄えた非常に歴史ある場所です。そこにあるイーストアングリア大学は環境学や開発学などで有名で、イギリス人生徒に加えて世界 120 カ国から約 2000 人の留学生が学んでいます。このような小さな都市でロータリー奨学生として学んだことは非常に貴重な経験でした。

勉強面では開発学を専攻しました。開発学というのは発展途上国の問題をさまざまな角度から勉強する学問で、分析手法は経済学、政治学、環境学、社会学と様々です。途上国に関する学問ですので途上国からの留学生が非常に多く、国際的な学問の場でした。そのことはロータリー奨学生としての使命を果たす上でも非常に良いことであったと思います。授業や課題などは非常にハードで、寮、図書館、教室の三ヶ所を往復する日々で、勉強ばかりしていた気がします。それに加えて冬は昼が非常に短く、多くの学生が鬱気味になっていた気がします。

奨学生としての活動において力を入れたことはスピーチ以外の場での国際交流でした。私は趣味が合唱ですので、大学や地域の合唱団に所属し、歌を通しての交流を心がけました。また日本料理店があまりない都市でしたので日本食などを友人たちに積極的に振舞いました。浴衣などでパーティーに参加することもありました。確かにスピーチというのは有効な交流の方法なのですが、私は日本というものをイギリスの方に五感を使って感じていただけるように心がけました。私がイギリス人に知識として伝えた日本はすぐ忘れられてしまうかもしれませんが、日本の音、味、服という

目で見たもの、耳で聞いたものというのは必ず彼らの中に残ることとっております。

一年間のイギリス留学を通して感じたことは主に三つあります。まず、日本人であることとは何かということです。日本人は外見的には他の東アジア人と変わりません。また日本語と中国語の差というのもイギリス人にとっては大きなものではありません。そうした中で私が感じたのは文化の重要性です。滝廉太郎の「春」を合唱で披露したことがあったのですが、その時にイギリスの方が「日本の歌って素晴らしいね」と言っておられたのを思い出します。その時に感じたことは自分が日本人であること、それは日本の文化を深く理解していることではないかということです。これは若い世代にとって課題であるかもしれません。

次にグローバル化です。寮で一緒だったのはメキシコ人、中国人、タイ人でしたが、生活の上での文化的摩擦をほとんど起こすことなく仲良く住んでいました。このことはやはりグローバル化によって他国の文化を知り、受け入れる能力が世界の人々に高まってきたおかげではないかと思いました。

最後にロータリークラブの奥深さです。世界中に広がるネットワーク、どこの町にもあるその地元密着性、どこをとってもこれほどの組織は世界でも唯一のものだということはイギリスでの生活を通して実感しました。どの町へ行ってもロータリークラブがあり、私が奨学生であるということで、非常に優しく接していただきました。またロータリーの方は国際的感覚に優れた方が多いように感じました。それはやはりロータリーが世界に広がるネットワークであることと無縁ではないような気がします。国際人とは海外を飛び回ることや他国語をしゃべる能力ではなく、国際的意識を持っているか否かということだと聞いたことがあります。その意味でロータリアンは非常に優れた国際人と言えると思います。

一年間の留学で様々な経験をし、私の社会観、人生観というものは大きく変わりました。やはりそれはロータリー奨学生として留学したおかげだと思います。このようなチャンスを与えてくださったロータリーの方々には深く感謝するとともに、これからこの経験を少しでも社会に還元できるように努力して参りたいと思います。

本日計 46,056円

累計 956,476円

次回卓話

「茨木3RC 合同ガバナー公式訪問」

宮田宏章ガバナー

ニコニコ箱

夫人誕生を記念

結婚記念

ホームクラブ皆出席 秋山、橋本(淳)、日野岡、簡

久保、長澤、野田、大木、坂井、朱、戸川、山田

欠席のおわび

菊山

日野岡 S.A.A

掛谷、長澤

高島

R 財団寄付金のレート差額計 488 円は

432 円 ÷ 108 円 = \$4 (クラブ寄付に) 56 円をニコ

ニコに頂きました

